

学会等受賞論文の概要

受賞者	道路研究部緑化生態研究室 上野裕介・栗原正夫, 元 緑化生態研究室（現（株）地域環境計画） 園田陽一・（現 神奈川県） 松江正彦
研究論文名	樹上性哺乳類の生息林分断化対策：簡易エコブリッジの開発
授与機関	公益社団法人 日本道路協会
受賞時期	平成 25 年 12 月
受賞内容	優秀論文賞 （第 30 回日本道路会議）
論文の概要	<p>野生生物に対する生息地の分断化対策は、環境アセスメントにおいて重要なテーマの一つである。中でも樹上性哺乳類（ニホンリスやヤマネ）は、森林における「重要な種」に選定され、環境保全措置が求められることが多い。一方、これら樹上性哺乳類の分断化対策（通称リス橋、エコブリッジ）は、費用が高く、普及が進みにくい現状があった。</p> <p>そこで、安価で安全、リスの利用実績があり、耐久性も兼ね備えた簡易型エコブリッジの開発を目的に、素材・構造の選定から始め（ロープ構造と網目構造、化繊製と金属製）、公園での架設試験とリスの利用実態調査、道路上での冬季耐久性試験を行った。これらの結果、簡易型エコブリッジには、リスの利用実績があり、安価かつ維持管理も容易な化繊製のロープ構造が優れていることが分かった。</p>